

# 治山工事を進めています！(H28完了工事)

工事名	平成27年度復旧治山事業(ゼロ国債)第104号工事 (H28.10.18竣工)
箇所名	上高井郡高山村 字 松南(まつなみ)
主な工種	法枠工 A=645㎡ 鉄筋挿入工 N=161本(L=5.0m)
目的	荒廃斜面を復旧して、山腹の侵食・拡大崩壊を防止する

上高井郡高山村を流れる1級河川樋沢川の左岸側に位置する当箇所では、H27から、荒廃や拡大崩壊を防止するため、山腹工事を実施しています。法枠工という枠桁の吹付で斜面を安定させた後、斜面の不安定層を固定するため、鉄筋挿入工という工法で斜面を安定させます。

**着手前(5月)**  
H27に施工した範囲に隣接した斜面の対策工事を行います

**伐採(6月)**  
斜面内に生えている雑木等を伐採します

**法面整形(6月)**  
斜面の凹凸や転石等を除去して、ラス金網が張れるよう人の手で整形します

**ラス金網張り(7月)**  
ラス金網を張ります

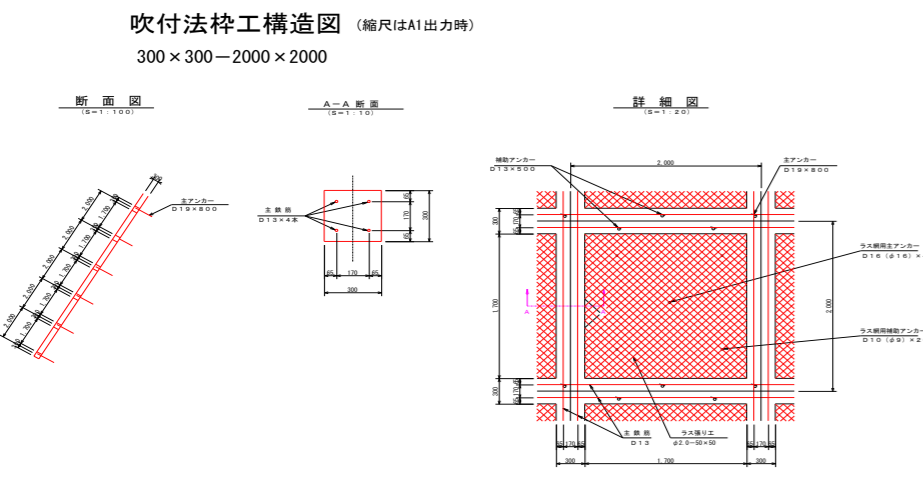
**型枠・配筋(7月)**  
法枠工の骨組みとなる鉄筋を組み、型枠を設置します

**法枠吹付(8月)**  
枠にモルタルを吹付けます  
枠の中は、モルタルを8cmの厚さで吹くほか、厚層基材といって緑化をするための基盤材を吹付けます

**鉄筋挿入工(9月)**  
単管パイプで足場を組み、削孔して、長さ5m、太さ2.5cmの鉄筋を打ち込みます

**完成(10月)**  
およそ5ヶ月にもおよぶ工事が完了しました！

## 法枠工



近くで見るとこんな感じ！  
枠の厚さは30cmで、1つの枠の大きさは2.0m四方です

## 鉄筋挿入工

鉄筋挿入工構造図 (参考図) S=1:2 (A1時)  
D25 L=5.0m N=10段

削孔する穴は約4.6m。地山から出る頭のキャップ部分まで合わせて5.0mの長さがあります

先端にドリルが付いた削孔機械で地山を掘り進めます